



キタ！からきた

だより 第140号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。
kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

「こんなところに社会福祉士がいた！」

大阪北支部・会員リレー紹介 No 29 レポーター 藤本 真由

今回は、成田和子さんをご紹介します。

元々は他分野で、民間企業に勤務されましたが、転職で福祉の道へとつながりました。仕事と両立させながら、社会福祉士の資格を取得されました。

「福祉」と「人権」をキーワードに高齢・障がい・ひとり親家庭の支援やハンセン病回復者や野宿生活者支援に取り組む法人で、相談業務や各種講座やイベントの企画・運営・広報にあたってこられました。

20年近く経った頃に、別の法人に換わることになりましたが、業務内容には大きな違いはなく、以前の経験を活かして、また行政・市民・NPOなど対象範囲がより広がったと話されます。そしてそこでも10年以上勤務されています。現在は相談業務が中心で、相談方法は電話が主です。顔が見えない状態での傾聴に、勉強や工夫を重ねていらっしゃるとのことでした。

地元の高校で「準高生」（大阪府立高校「知的障がい者生徒自立支援コース」の前身）として通う障がいのある友人達との活動に携わっていたことから、その地域で障がい事業を展開する社会福祉法人と関わりがあり、現在、その法人の評議員を、私も成田さんと一緒に務めさせていただいています。

最近では保育士資格も取得され、将来はこども分野でも貢献できたら、とお考えとのこと。

皆さんにお伝えしたいことは、「人間関係の構築って大事ですね。人権を通じて、社会のあり方を考え、発信していきたい。一人一人の存在を大事にした関わりや支援をしていきましょう」とのことです。



☆ 「折れない心を育てるいのちの授業」に参加して ・ 大阪北支部 奥田 教之 ☆

1月22日に大阪北支部副支部長の田中宏幸氏が講師を務め、「折れない心を育てるいのちの授業」をオンラインリモートで開催しました！ テーマは「援助職である私たちが相手にとって『聴いてくれる人』になる」。参加者は28名。子どもと一緒に参加も呼びかけたため10歳の参加者もいました。

授業では「苦しみってなんだろう？」「苦しいときに支えになるものってなんだろう？」などについて、講師が参加者に話を振りながらワークシートを記入していくというスタイルで進行しました。“相手の思いを聴く”という基本的なことを再確認できる内容だと感じました。また、面接技法の「沈黙」「反復」の大切さを学びました。

「同じようなテーマで勉強会を開催してほしい」「看取りをテーマにした大人向けの講義も受けてみたい」との要望もいただきましたので、支部では“大人向けの研修会”も開催したいと考えています！



★令和4年2月より、大阪北支部の公式LINEアカウントの運用が開始されています。
LINEの「友だち追加」から、ID検索「@712abvel」するかQRコードをスキャンしてください。

